

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2022年11月28日】第146号



スポーツデー開催

11月22日(火)、本校で初めてとなるスポーツデーが行われました。運動会・運動競技会とは違い、児童が日ごろから体育や学級の活動などで親しんでいるスポーツを中心に2学年ごとに行うものとして、午前は1年生と2年生、午後は3年生と4年生の部に分けて実施しました。普段の生活から離れて、リラックスして楽しく過ごすこと、さらに、学年を越えてともに楽しむことを目的としています。1年生と2年生では学年合流での英語の歌とダンス、徒競走、そして大根運びリレーと台風の目、3年生と4年生では大縄回しやドッジボールに、思う存分に汗をかいた子どもたちです。お天気にも恵まれ、子どもたちの晴れ晴れとした顔が印象的でした。また、開会式や閉会式での挨拶や司会、準備運動や整理運動の先導についても、各学年の子どもたちが立派に行っていたのも、うれしいことでした。

この日は、保護者の皆様にも1家族2名までの制限のもとでご来校いただきました。新型コロナウイルス感染防止の観点から、厳しい入校制限を続けてきた本校ですが、この日は4学年286名の児童数に対して、総勢461名とたくさんの保護者が久しぶりに来校されました。ご家族の応援は、子どもたちの楽しい気持ちを大いに盛り上げました。また、本校教育後援会とも連携し、大縄回しではボランティアの保護者様に縄を回していただくなどのご協力にも感謝します。校舎の屋上からプロカメラマンが撮影した集合写真もよい記念になることでしょう。加えて、株式会社農大サポートの出店もあり、東京農大関連の農作物や食品などを紹介し、販売する機会としました。

終わってみると、今回のスポーツデーへの改善点・反省点も見えてきます。しかし、スポーツデーの後も、子どもたちが大縄跳びやドッジボールを楽しんでいる休み時間の光景を見ると、来年度のスポーツデーへの期待も高まります。

俳句を作ろう

11月24日(木)は2年2組を対象に、東京農業大学名誉教授で俳人の中川純一先生による稲花タイム「俳句を作ろう」が行われました。今年の4クラス目の授業はどうだったでしょうか。千両、山茶花、白鳥、柿の木、冬眠する昆虫などを題材にした植物や動物に興味のある農大稲花小の子どもらしい俳句があり、また、リンゴ、鍋、おでんなど食べ物を季語とする俳句もありました。さらに、クリスマスを待ち望んだり、昨年の大晦日やお正月を思い出しての一句もありました。

「これで正しいか」「よくできているか」ということを気にする子どもが多いのですが、俳句は心が動いたことを自由に記せばよいのだということを、中川先生の優しい語り口の中から子どもたちも

理解できたことと思います。

いつでもご飯

11月25日(金)、4年生の稲花タイムはと赤飯文化啓発協会そしてアルファー食品株式会社の矢富伸治様、町田光司様ほか合計5名を先生にお招きしての「お赤飯 そして いつでもご飯」の授業でした。

食べ物の好き・嫌いはなぜあるのか、お米と私たちの関係、お赤飯とは？ と授業はテンポよく進みました。昔は悪いことがあったときにお赤飯をお供えしたことや、お赤飯に甘納豆を入れる地域もあることなど、はじめて知る話もたくさんあり、子どもたちは熱心に聞いていました。

お米やお赤飯についてたくさん学んだあとは、アルファー化米について教えていただきました。そして、アルファー化米が非常食に活用される話を聞いた後、実際に25人分のアルファー化米に4リットルの熱湯を入れて15分、美味しいごはんになる様子を見て、味わいました。

1人ずつにご提供いただいたアルファー食品株式会社様からの「とうもろこしご飯」。ご家庭でも、お赤飯、アルファー化米、そして非常食の話がはずんだことでしょう。



◆赤飯文化啓発協会「お赤飯はしあわせご飯」

<http://www.osekihan.jp/>

◆アルファー食品株式会社

<https://www.alpha-come.co.jp/index.html>

楽しい自然体験

11月26日(土)、東京農業大学稲花小学校教育後援会の企画による「第1回 親子自然体験 in あきさわ園」が行われました。3年生とその家族は朝8時30分に、4年生とその家族は朝10時00分に小田原駅前に集合。バスで「あきさわ園」に向かいました。参加家族数は85家族、総参加者数は223名の大イベントです。

「あきさわ園」は、東京農大を卒業したご夫婦が担う農園です。卒業後に、海外農業実習などを経て江戸時代から続くみかん農家を引き継いだご夫婦は、みかん、ブルーベリー、キウイフルーツ、玉ねぎなどを栽培するだけでなく、ジャムやジュース、ドレッシング、ジェラートなどへの農産加工や観光、さらに教育や研修などを含めた6次産業化の取り組みで実績をあげています。



保護者や友だちと一緒にみかん狩りは楽しいものです。とくに、木によって、またお日様の当たる方向によって味が違うということを教えてもらい、親子兄弟姉妹で食べ比べをしながら、おいしいと思った木のみかんを袋いっぱい収穫しました。また、玉ねぎの植え付け体験もしました。マルチの穴に苗を植え付ける作業は、農大稲花小の子どもが得意とするところです。しかし、たくさんある苗を全部植えるのは、ちょっと大変。それでも植え残した穴はないか、落ちている苗はないか、しっかり点検する子どもたちもいて、頼もしく思いました。植え付けた玉ねぎは4月も後半になると収穫だそうです。

生憎のお天気で、3年生はせっかくのお弁当がバスの中での黙食となってしまいましたが、4年生のお昼時には天気も回復し、海を見ながらお弁当を広げることができました。準備から運営までをお世話いただいた教育後援会役員の皆様や、あきさわ園の皆様のお力もあり、子どもたちが仲良く一緒に自然の中で遊ぶこと、保護者どうしが楽しくお話することのできた良い一日となりました。

◆あきさわ園 <https://montealegre-paraiso.com/>



東京農業大学稲花小学校

校長 夏秋 啓子